

令和6年度第2回 鹿島区地域協議会 会議録

＜地域協議会の日時・場所＞

1 日 時：令和6年5月15日（水）

午後1時30分～午後3時

2 場 所：鹿島区役所 2 階大会議室

【 会 議 録 】

1 開 会

○事務局

地域協議会成立要件の確認

委員数 15 名

【出席委員数】 14 名

大谷和年、高野邦弘、北元幸一、太田真樹子、服部隆男、高橋昭一、草野繁春、
鈴木清教、森 泉、鎌田博信、長澤初男、草野禎夫、豊田真由美、大河内俊樹

【欠席委員数】 1 名

今野 愛

上記のとおり、委員の過半数の出席のため成立していることを確認します。

※鹿島区小中学校 PTA 連絡協議会から推薦の森泉委員及び鎌田博信委員へ令和
6年4月19日付けの委嘱状を涌井秀之鹿島区役所長より交付した。

2 会長あいさつ

高野会長よりあいさつ

3 区役所長あいさつ

4 会議録署名人の指名

高野会長が会議録署名人に北元幸一委員と太田真樹子委員を指名した。

5 議事

(1) 報告事項

① 南相馬市新市建設計画見直し(素案)に係るパブリックコメント手続きの実施について

○高野会長 報告事項の①南相馬市新市建設計画見直し(素案)に係るパブリックコメント手続きの実施について説明をお願いいたします。
今日は、マイクがないので大き目に言って下さい。

《 企画課 資料1-1 ～ 1-3 により説明 》

○高野会長 それでは、皆様より意見・ご要望等ございましたら挙手の上ご発言をお願いいたします。

○草野(繁)委員 初めに、会議室のマイクが、私は高齢者で聞きづらい点があるので、マイク・音響がないのはどうしてか。

○地域振興課振興担当係長 本来、会議録システムのマイクを借りて設置しますが、今日15日は、農業委員会定例会と日程が重複し、システムが借りれずマイクがないということで、ご了承をいただきたい。申し訳ございません。

○草野(繁)委員 合併した経緯は、意外と皆さんも分かってないと思います。私は、合併協議会に参加しました。当時、鹿島町としては、合併特例債を活用して、牛島開発・海洋資源活用というのがあったと思います。鹿島区にはキャンプ場・パークゴルフ場があり、釣りやサーフィンも出来るという非常に素晴らしい海洋資源があると思います。そこにタラソ。これは、賛否両論ありますが、それを救うため、合併特例債を活用するために合併するという思いでいました。それは、震災後、津波によって、あの地域が全部壊滅になりました。1回、牛島開発計画委員会みたいなものがありありましたが、その後、何もないです。ですから、この地域の本当に振興を図っての政策があったはずで。それが、見えてこないのは非常に残念な思いをしています。それと同時に、このことを地域協議会委員も知らなくてはならない部分かと思っています。若い人は、合併時の記憶が僅かです。まず、そこから説明して、新市建設計画見直しを諮るのが、筋かなと思っています。

あと、もう1点、合併特例債の活用で、2ページの一番上、令和7年度末時点での

普通建設事業及び合併特例債の活用見込みがあり、3区がきれいに6:2:2に割合になっている感じはしますが、この明細について知りたいと思います。どういう事業に使ったのか。まず、これが分からないうちに、パブリックコメントしろと言っていますが、何をさせたいのか、思いがはっきりしないから提案ができないです。そういう資料もほしいと思います。その事について、答えていただければと思います。

○高野会長 はい。それでは、事務局側の回答をお願いします。

○企画課長 まず、先ほどありました事業の一覧。これまで、どの事業を計画し、どの事業を実施したという一覧。そちらの一覧については、すみませんが間に合わなかったです。まだ、整理が間に合ってなく、調整中ですが、パブリックコメントを出す際には、間に合えば出していきたいと考えておりまして、結構、整理が難しいです。やはり、もう20年ぐらい前に立てた計画でして、その後に震災があって、復興の事業があって、復興事業と新市計画に掲載されていた事業が、きれいに分かれていないという事がありまして、整理するのは、相当な手間もかかるっていることもありまして。上手く整備しようと思っていますが、なかなか追いつかないこともありまして、整理はやっていますので、出来るだけ事業がどこまで進んでいるという資料、資料編として早めに準備していきたい。

○高野会長 はい、どうぞ。

○企画課係長 すみません。今、課長が申し上げた合併時の普通建設事業、555 億円の事業の 129 事業の話をさしあげましたが、それを含めて普通建設事業というのは、先ほど申し上げたのは、ハード事業です。合併特例債を使っている事業もあれば、復興関連の事業もあって、そのうち、普通建設事業は具体的に鹿島区では、桜平山公園整備、上真野小学校のプール改築、真野小学校・鹿島小学校の耐震、八沢小の屋内運動場改築。あと、大きいところで、パークゴルフ場整備事業、鹿島中学校のバリアフリー化事業、圃場整備、南相馬消防署鹿島分署整備事業です。今、合併特例債ベースで言うと、鹿島区総額で約26 億円程度、令和7 年度までに合併特例債以外も含め、鹿島区で128 億円程度の普通建設事業を見込んでいます。概ね震災以降、ハード事業と見込まれる復興事業については、ほぼ普通建設事業に全て入っていきまして、鹿島体育館はじめ、全て普通建設事業に入っているという認識です。

○草野(繁)委員 はい。私らは、だいたい知っていききたいというか、その辺は見定めないといけない。新市建設計画のパブリックコメントといいまして、どういう風に提案していいか、漠然とし過ぎて分からない。ですから、そういう資料いただきたいということを今、申し上げましたけど、それは、地域協議会委員に配布するというこ

とは難しいですか。

○企画課係長 今申し上げた、普通建設事業というのは、市全体の事業ですけれども、それを、鹿島、小高、原町に区分して進捗を確認してます。市の予算事業については年間1200事業以上くらいあるので、それらをベースとしつつ、20年近く積み上げたのが709億円と膨大な事業費となります。その話は別として、先ほど課長が申し上げたのは、合併時に、事業で言う129事業、先ほど草野委員からのタラソ事業、鹿島パークゴルフ事業、みちのくグランド事業とか、主要事業を挙げさせてもらっていて、その事業について進捗管理しています。と言うのも、震災前の道路事業等が、震災以降、無しになったものもありました。また、鹿島の事業が、小高・原町と一本化するという整理をしたものもあります。あと、今私が申し上げた、合併特例債の財源を充てた事業一覧については、公表している事業なので、地域協議会の皆さんにもお示し出来ます。その辺、分かりやすくしたものを今、整理していますので、草野委員からありました通り、合併時計画した事業がどうなっているのかという視点だと思いますので、これは整理をして、一方で数字を積み上げてどうしても、その合併特例債の事業が、複雑になっていて円単位で積み上げるのは、大変難しい部分もありますが。大きな考え方として、鹿島に使った事業、原町に使った事業、小高に使った事業、分けることは出来るので、お示しできるところで改めてお示ししたいと思います。

○高野会長 草野委員、よろしいですか。

○草野(繁)委員 分かりました。ただ、1点ですが、やはり、そういう知りたいということは、どうも鹿島の人達と色んな話しをしてみると、バランスが取れていないような話があります。小高の事業であったり、原町の事業であったりして、鹿島の事業が何もないんだなという風な、全然進捗してないのではないかという声が結構多いので、今、申し上げた訳です。以上です。

○高野会長 今、草野委員が話された中で、今、私も思ったのは、要するに鹿島消防署を改修するという時に、普通建設事業でやるのか、合併特例債を活用した事業やるのか、という風な区分けをどのようにやっているのかという事について、鹿島区の人達が分かってないです。そうすると、何ていうか、うまく、いかにもごまかしが効くというか。では、鹿島区の合併特例債の割合は、殆ど使ったと言われると、それで、今、そうなのかと思うことになってしまうので。多分、草野委員が話されるのは、どういう風に、それぞれの原町区、小高区でそのような使われ方してるかっていうのが、確認なかなか大変な作業だとは思いますが、この辺の事を言いたいのかなと、私思ったので、付け足させていただきました。

○企画課係長 合併時計画した普通建設事業というのは、合併特例債とか、ほかの補助金とか交付金とかいろんなもの含めて、ハード事業を概ね10年間で555億円、129事業を計画しました。そのうち合併特例債というのは、自治体規模で交付配分が決まっているので、南相馬市の場合だと、239億円が、配分されます。よく、2:2:6の原則と言いますが、239億円を2:2:6で配分するのではなくて今ほど申し上げた555億の普通建設事業、ハード事業、合併特例債であったり、県の補助金、国の交付金であったり、それを含めて、ハード事業を2:2:6とお話をしていました。では、その2:2:6の進捗管理がどうなっているかと申し上げますと、本日、お配りした普通建設事業の見込額というのが、今、申し上げたハード事業全般の震災関連を除く事業の割合が、概ね2:2:6で進捗しています。実際、合併特例債の活用状況を見ますと、小高と鹿島は、ほぼほぼ同じです。若干、原町が多い状況ではありますが、普通建設事業、合併特例債以外の国・県の補助金も入った中で、今、予定していた通り2:2:6のバランスというところがあります。やはり、どうしても小高区とか震災関連の復興事業の財源があたったりするので、その分事業が大きくみえるのですが、今のところは申し上げた通り、普通建設事業ベースで言うと、2:2:6、変わらないところがあります。この辺の内訳について、資料整理したいと思います。

○高野会長 はい。それでは、透明性のある内容で、報告していただければと思います。よろしく、お願いいたします。その他、皆さんからないですか。はい。服部委員。

○服部委員 資料の1ページの4.76億円の活用財源。この文章を見ると、庁舎建設事業や消防防災施設整備に回されるという風にも極端にみると、そういう風に解釈できるんですが、そのような、考えでよろしいですか。理解してよろしいでしょうか。

○高野会長 はい、事務局。お願いします。

○企画課係長 今、服部委員からあった部分については、令和7年度末時点なので一部新庁舎建設事業の財源等が入っております。ただ、令和8年度以降の部分で、庁舎建設の部分が財源として入っておりませんので、本庁舎の部分を正確に申し上げますと、全体事業が70億円ちょっとになっていまして、それに対し合併特例債46億円を充当する計画になっておりますので、概ね76億円のうち、46億円を除いた30億弱が、まだ使う見込みが立っていない大まかな数字です。

○服部委員 結論は76億円の中だから新庁舎の方に充当させていただいて。はい、分かりました。

○高野会長 はい、服部委員。よろしいでしょうか。はい、その他、ご意見があれば。はい、草野委員。

○草野(繁)委員 私として不安なのは、新庁舎70何億とありましたが、実際、その金額で間違いないでいいかどうかです。実際には、建築資材が高騰してまして、いろいろな面で、高騰しています。人によると100億円になるのではないかと言う数字もあります。ただ、残念ながら市の方は、安くだすんですが、実質的には、とんでもない金額になったりする。実際は、高平の方に、市場、今年、問題になってますが、あれも本当に建設事業費が当初予算より倍以上になっているような。議会でも問題になっていると聞きましたけれども。新庁舎建設に関しても70何億と言いましたが、正直に言ったほうがいいと思います。正直に言うと難しいかもしれませんが、厳しい状況じゃないですか。これを財源の中でやれるのかどうかですね。その辺、どのように思っておりますか。

○高野会長 はい、お願いします。

○企画課長 新庁舎につきましては、今、草野委員からありました通り、やはり大変、建設費の高騰で、当初の計画で建てようとする、だいぶ建設費は騰上がるという様な話です。しかしながら、そんなにそんなにお金はありません。そうすると、やはり、建設のスペックというか、例えば面積を小さくしたり、機能をちょっと縮小したりとか、そういう意味で、今、新庁舎建設の担当課が、建設費を抑えようとして頑張ってます。いくら、建設費が騰上がったとしても、どこかで抑えなければならぬと思いますが、基本的には、合併特例債を充当する金額については、基本46億円という金額は変えないという方向で進めます。その他の財源としては、具体的に言えば積立基金もあります。今度、その積立基金をどうしていくのかということも、議会等で決められていくと思いますが、合併特例債の部分については、46億円これ以上は使わないという方向で、今進めているところです。

○高野会長 はい、草野委員、よろしいですか。

○草野(繁)委員 本当に、これ以上高くないように努力してほしいです。

○高野会長 はい、それでは、その他、ご意見ありますか。はい、それでは、発言がないようですので、本案件につきまして、ご異議がないということで、決定してよろしいでしょうか。はい、それでは異議がないものと認めます。

(2) その他

① JR鹿島駅駅舎改修に伴う駅周辺のあり方検討について

○高野会長 それでは、続きまして(2)その他に移ります。JR鹿島駅駅舎改修に伴う駅周辺のあり方の検討について、説明を求めます。

《 地域振興課 資料により説明 》

○草野(繁)委員 この前、駅舎を経過観察したんですが、確かに鹿島駅舎は130年近く経っています。私思いますが、本当に、鹿島にとっての顔というのは、何を作っていけばいいと思います。機能さえ備わっていれば良いという考えがあるような気がします。実は、大事なものは我々の駅を使って、駅舎を活用した、その駅舎の思い出がすごい重要なんです。ですから、確かに古くなったから新しいものに変えるという発想というのは、ちょっと地域の大事な価値を無くしてしまうという危惧があります。実際、鹿島観光協会でも、この鹿島駅舎を活用して、色んな事業展開してって事もありまして。本当に震災直後、鹿島駅舎利活用、そういう構想を立ち上げました。結構壮大な図面まで出来まして、鹿島駅そのものが非常に有効活用出来る思いでおりましたが、その後、さまざまな状況があり、立ち消えになっています。ですからそういうふうな思いもあります。そういう古さが実は大事な要素だと思っています。結局その今歴史ある観光客が訪れる所というのは、決して新品で新しいところだけではないです。古くて歴史を持った遺産なり建物です。最近、若者の間でも、昭和に対する郷愁と言いますか、そういう昔の良さを見直すような今、流れがきていると思います。ただ、そういう流れの中で、反対に本当に大事なものを無くして良いのか。それが改修と言いますが、新しく建て替えるということで、先ほどの写真の様になんとか味気ない駅舎になるわけです。それよりは、この地域を大切に思う気持ちであれば、その価値をいかにしてつけ足していくかという方が大事なかなと思いますので、個人的な意見です。実際、商工会でも要望書・アンケートをとりました。その7割以上が、駅舎に関しては、現在の状況の駅舎を活用していただきたいと要望です。それが結構住民の声が多いと思います。何でもかんでも綺麗にしていけば良いというのではなくて、そういう歴史あるものを残していくというそういう財産を考えていかなければならないと思っています。

あともう1点、小高は8年になりますけど、あそこには既に残そうという動きがあります。実際にあそこにhaccobaも入りました。あれが入って、その駅舎の保存管理が出てきます。小高は意外と文化的なもの、大事にする機運が非常に高いものですから、その様々な面で、地域協議会もすごく活躍しておりますし、そういうふうな流れです。ですから、段々、私は鹿島は無味乾燥なそういう場所・地域になっているという危機感もありますので、これは私は意見として述べたいと思います。

○高野会長 この案件、この駅周辺のあり方については、鹿島区地域協議会を検討の拠点とする。それから、地域協議会から検討の輪を広めていく。あとは、出向いていろいろ話を聞くということによろしいかということですので、意見として頂戴したいと思います。

○地域振興課鹿島活性化担当課長 要望についてお答えします。確かに、古いものには価値があるという風に思っておりますし、壊してしまえば、元には戻せないわけで、我々としても、数回にわたってJR東日本さんとは、意見交換をさせていただきました。その中で、やはり今の駅舎を残すということは出来ないのかという事も、我々働きかけてきたわけですが、部材が大変古くなってきて、例えば、残すにしても補強しなければいけない。補強するに当たって、今の部材をそのまま使えるかとなると、今後10年、20年と考えると、やはりJRさんからすると利用者の安全をしっかりと確保しなきゃいけないという考え方がありますので、そこは難しい。そうすると、お金をかければ、形はもとのものが残せます。ただ、形づくる部材は全く新しいものとする、それは果たして古いものを残したということになるのかという風にも考えられます。とは言いながら、例えば、仮にお金をかけても、古いものをしっかりと残していきたいという声が多ければ、これを真摯に受けとめる必要があるという風に思っております。そういうところも含めて、多くの皆さんの求める声を拾っていかないと、我々もどういう方向に進むべきかというところは、なかなか決めていくのは難しいだろうなというふうに思っていますので、もちろん草野委員の意見も貴重なご意見だと思いますが、多くの方がどういうもの求めているのかというところを探っていきたいなと思っています。

○高野会長 はい、ありがとうございました。この案件につきましては、お金がかかるということから、先ほど説明のありました新市建設計画の見直しってことで、こちらの方にも関連性があることでありますし、今後、協議を進めていくに当たって、費用の配分とか、JR側でどれだけ出してくれるのか、それも関連してきますので、ある程度、事務局側の方でも、市側でも少し検討していただいて、次回に繋げていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。
その他、皆さんから何かないですか。はい、鎌田さん。

○鎌田委員 すみません。昨日、そういった意味で鹿島中学校PTA本部役員中心で説明を聞きにきた経緯もあったり、実際に駅舎を昨日見に行ったりしたんですが、結局、行って、ボロボロという、みんなの感想で。ただ、この駅舎の120何年の歴史っていうのは、一体どこに残っているのかなあっていうのが、まず、うちの率直なものなんです。昔の駅舎の写真がどっかに貼ってあって、あっこれなんだっていうのが分ければまだあれだったんですけど。確かに本部役員の中でも、残してもらいたいっていうのは半分いるんです。あとは今後、中学生・小学生が高校に行ったりと

か利用する時に、やはり雨風をしのぐには、駅舎が無いとという、反対方向には待合室はあったりしますが、あそこに駅舎なくなると雨風をしのぐところが無くなってしまう。電車くるまで、朝とか雨降ったら、「大変だね。」というのがあります。だから、そういった意味で、規模はそのままぐらい活かす修復してはというのと、逆に言えば普通に復元するという意見もありました。だから、昔の姿がどこかに残っている様な形で、綺麗になったらそれはそれで、新しい部材は使われてるかもしれないけど、どこかにちょっと残ってますよぐらいでも良いのかなって。昨日そんな話を、ちょっと立ち話をしていましたので、今後どういう形でも、やっぱり待合所は残したいというのがあるようですので、活かしていただければと思います。あと、これでいうと2か年の中でいけば、JRとしても、答えを早くしたいのではないのかなと思います。そうすると結局そういう取りかかるまでの期限っていうのはどこまで、どの段階まで迫られているのか、ちょっと知りたいです。

○地域振興課鹿島活性化担当課長 JRさんで検討するという話がありました。今、私もが伝えられているのは、令和6年の前半の中で、新しい駅舎のコンセプトみたいなものを決めていく。後半にかけて設計を進めていくということでお話を伺ってます。令和7年度に建替えに当たるということなので、少なくともコンセプトを決めるまで、恐らく10月ぐらいなのかなと思うんですが、それまでは、かなりぎりぎりの話にはなってくると思いますが、我々の思いは伝えていく必要があるのかなと思っております。あと、正直なところ、駅舎の大ききみみたいところは、なかなか希望として受け入れていただけないと部分はあるのかなというふうに思っていますが、デザインとかの部分については、最大限、我々の要望を汲んでいただけるというか、実現できる出来ないはあると思いますが、聞き入れていただけるというふうなお話もいただいておりますので、繰り返しになりますが、色んな方のご意見やご希望をまずは詰めていくところを、我々、取り組んでいきたいなと思っております。

○高野会長 はい、草野委員。

○草野(繁)委員 この地域協議会から検討の輪を広げるってことになっていますが、実際、非常に駅舎を利活用する考えがあるかどうかです。ただ単に、駅舎だけの機能にするか、それも大事な点だと思います。我々住民とすれば、その利活用が非常に重要な要素だと思っています。ましてや、私は、商工会の代表として、駅周辺の利活用が人が集まりやすい、何らかの形で、住民がその駅舎を利活。そういう利活用も含めての考え方が必要だと思います。今の考えでは、地域協議会だけの限られた短い時間だけで検討していくのは無理だと思います。本当にある意味では、利活用するのであれば、検討委員会を作る必要が大切だと思います。本当に我々として、地域にとって誇れるものを何かしら残したいというか、それは大事だと思います。日本中で1番古い駅舎ということで全国各地から集まるわけです。そういうのがあっ

てもいいんですよ。そこで何か新しく機能的に無駄なくとか、ばかり言ったのでは、地域の魅力がどんどん無くなって、最後には観光が大事だと思いますから。観光するというのは、私たち住民も思いがこもりますし、磨きあげられたのがふるさとだと思いますから。ここ地域協議会だけの検討で果たして、なんか言いなりになっていくような感じとして、本当に利活用を考えてやるのかどうかその辺です。

○高野会長 はい、どうぞ。

○地域振興課鹿島活性化担当課長 すみません。私の説明がいけなかったかもしれないんですが、まず、全体的なイメージとしては、我々は駅舎だけで考えているわけではなく、それこそ駅周辺ということも含めて考えております。当然、利活用の部分も含めて、要望があればしっかりと、私どもでお聞きしていきたいということが1つ。あと、検討体制のお話ですが、実際に検討委員会を立ち上げたとしても、恐らく地域協議会と同じような顔ぶれになってくるというふうに我々は思っておりまして、より皆さんの声を細かく多く吸い上げるために、まず地域協議会を拠点としながら、地域協議会から色んなところに広げていって、要は会合活動を増やしていく。そうすることで、声を丁寧に拾い上げることが出来るかなと思っています。その拾い上げた声を、フィードバックする場が地域協議会。地域協議会でしっかり我々が汲んだ声を報告させていただいて、その上で、地域協議会の皆さんに、判断をいただくわけではないんですが、お話をさせていただいて、さらに意見をいただいて、どんどん深めていくというような形を考えております。そのような進め方に対して、もしご意見があれば、お願いしたいと思います。

○高野会長 先ほど私お話ししましたとおり、本日は具体的な鹿島駅改修、駅周辺のあり方についての検討会ではないので、これについては、資料を整えていただいて、次回以降、十分に検討して頂くという形にしたいというふうに思います。それから、2人の委員のお話を聞きますと、なかなか協議会だけでは大変ではないかということで、2番の2行目ですね、皆さんの所属する団体・組織に市が出向いてご意見を伺うとありますが、ここに追加で、ご意見を伺う。場合によっては、組織団体での検討委員会で揉んでもらって集約するとか、そういう形で少し場合によってはということで濁しておいて書いていただければ、出向いていく前に、その組織団体で検討委員会を開いていただいて、まとめたものを集約していただいて、その事を、この協議会の中で発表していただいて、この中で決めていくという形にすれば、私はいいのかなと私思います。その辺の文言を、付けてその辺のところで同意をとれるように上手く直していただければと思いますが、いかがでしょうか。

○地域振興課鹿島活性化担当課長 今の件で確認ですが、今の会長のお話だと、それぞれの団体組織の中で検討委員会を立ち上げていただくということですか。

○高野会長 検討委員会という大きなものでなくて、こんな事で聞きたいって行っても、組織としても、だれが意見を述べるんだとなるので、地元に住んでいる人、鹿島区の団体と言っても、鹿島区に住んでないし、駅なんか行った事ないし、関係無いと思う人が多いと思いますので、よくその職場の中で、いろんな意見を集約するとかしながら、こんな話、区役所からきてるんだけどみたいな形で進めていく方法にすれば、みんなの広い意見も取れるかなと思いますので、ちょっと次回までにその辺、話をまとめていただいて、次から、深くいろいろ検討していきたいなと思ってます。予算のこともあるので、なかなかこれ難しい事だと思います。そんなことでよろしいですか。その他、皆さんから意見がありますか。無ければ、本案件に関しましてご異議が無いものとさせていただきます。

②次回開催日程について

○高野会長 それでは、次に進みます。②次回開催日程について、お願いします。

○地域振興課振興担当係長 はい、次回の地域協議会の日程についてお知らせしたいと思います。通常ですと、議会開催月は開催しないですが、6月26日水曜日午後1時半より同じ場所、鹿島区役所の2階大会議室の方で開催を予定しております。日程が確定しましたら、改めて開催通知を送付させていただきますので、よろしくお願いいたします。

○高野会長 今の日程について皆さんよろしいでしょうか。はい、よろしいということでお願いしたいと思います。それでは、先ほど私、挨拶でもお約束しましたとおり、その他その他ということで、いろいろご意見ですね、本日の案件以外でのご意見等ありましたらお願いしたいと思います。はい、草野委員。

○草野(繁)委員 先ほど、涌井所長が仰いました、移住者。私が納得出来ないと思うのは、1500人居るといふ、原町区が1100人、鹿島区が160人、小高区が140人居ると、これでいいですか。もっと小高は多くていいんじゃないかと考えてます。160人ずいぶん多いなという思いなんです、160人の内訳は移住か転勤か何かですか。

○鹿島区役所長 これは本人にアンケート出して全部答えてもらっています。その為、小高に人が居るかもしれないけど5年以上住む気はないという人もいれば、それは移住者の該当になってないので、本人確認をとって、5年以上いるというのを示してくれた人の数をカウントしたものです。

○高野会長 居た人の数ではないという事です。今後、居ますという人です。

○鹿島区役所長 5年以上南相馬へ住むってということを決めて来た人を、移住者扱いとしてます。その為、決めてない人は多分書けないです。

○高野会長 思いのほか小高の人はいっぱいいますが、5年以内に出ていって人が多いという事。

○鹿島区役所長 覚悟を決めて入ってくるということです。あくまでも本人の意思です。実際、転入者は年間2000人います。それは転勤とか、進学で来ている人もいますので、転勤は入っていません。本人の意思です。ここには作業員もかなりいると思うので、ただ正式にはわからないんですが、本人の意思確認したところの結果、5年以上、住むという意味を持って転入してきた人はこれだけいますよってということです。転勤・進学以外に。

○高野会長 はい、草野委員、よろしいですか。

○草野(繁)委員 わかりました。

○鹿島区役所長 あと確かにUターンも多いです。あと学生が戻って来たのも一応カウントしています。あと、配偶者としてこっちに来た人もカウントしています。本人の意思。とにかく5年上住むといって南相馬市に入ってきた方です。それを細かく分析するとするとプライバシーの侵害になりますので、ここまでが限界です。

○高野会長 はい、よろしいですか。はい、その他。

○草野(禎)委員 はい。いつも、会議すると次何しますかという話になりますが、私が今回知りたいのは、折角こういう場にみんなが色々集まってきているので、ぜひ視察研修したい。視察研修行きたいです。今年も。それでまず1つは、近場で1つ。去年もやりましたが少し遠出して、一泊で1つ。2つをやりたいなという事で、話をさせていただいて、皆さんが良いのであれば、ある程度、年間で例えば7月に、小高の近場、11月にどこに行きましょと、だいたい決めてもらおうと、我々意見も出しやすいです。行きたい場所がありますので、そういう形で決めてもらえば、次回やりやすいと思いますが、そういうのはどうかなと思うのが1つ。あとは、セデッテの構想がありますが、第1回地域協議会の時に、市長が鹿島区の目玉は何かと聞いたら、セデッテを有効活用すると。その中には、八沢小学校の利活用も含めて出来ればというというような話がありました。あまりにも話が大き過ぎるので、本当かなって感じもあるので、その辺も、鹿島区地域協議会で、出来るだけ情報を出してもらって、そういう具体

的にやってほしい。セデッテとサイクリングロード利活用。あと駅の話は、今されたので進めるんでしょうから、私が思ってるのその3つ。やはり、鹿島にとっては大きな話かなと、我々にとっては身近な話しというのがあります。牛島の話は、今でもあります。何十億っていう話をお金をもらったのに、全然、今頓挫して分らないというのがあるので、その辺をやはり絡んでた人は分かるのかもしれないですが、ある程度年代が下がった人は全然分らない。何を言ってるのかというのもあるので、それは引き続き、やはり、やらなくてはいけないことは確実に進めていった方がいいかなと、せっかくの場ですので、そういうふうにしていただきたいなと思います。高野会長どうでしょう。

○高野会長 はい。私も草野委員と意見、同じです。私も今回2期目ですが、コロナの影響もありまして、1年目に視察研修が行けなかったという事があり、2年目で、やはりその視察研修に行くと、長時間一緒にいるので、それぞれの気持ちも分かり合えるし、色んな意見が、この協議会の中で、出て来ると私感じました。1年目に、草野委員がおっしゃったように研修、しかもスケジュール的にいつごろか、前もって分かるのであれば、皆さんそれぞれ参加率も上がると思いますので、その辺の検討。例えば、前回見てきましたが、駅の活用方法。どこかの駅に行って視るとか、サイクリングロード利活用しているところを視るとか、そんなことで検討いただければなと思います。それから、もう1つ私思うのは、先ほどタラソの話出ましたが、私もそのような話はまぼろしのように聞こえてきてはいますが、実際、その頃は、全然興味も無かったし、どんなことだったのかも分らない訳です。これが、今、沸き上がってきていますが、あと5年、10年経ってしまうと、本当に、何も分らなくなって南相馬市が本当に1つになって、時間が解決するというような事で、こんなふうに鹿島はどうのこうのだなんて無くなってしまいうでしょうけども、私たちの使命としては、その前に先輩方が色々思ってた事について、決着をつけるといいますか、こんなふうに落ち着いてやっていますよという事でいきたいと思います。今後も、皆様のご協力の方をお願いしたいと思います。私の回答は以上です。事務局の方でお願いします。

○地域振興課長 はい、2つの内、まず視察については草野禎夫委員からありました近場と1泊という事ですので、スケジュール感を示しながら、どちらかと前半に近く、後半に1泊。たぶん、1泊は準備がなかなか難しいと思いますので、そのようなスケジュール感を示せば示したい。次回まで示せばと思ひまして、いつもだと1泊研修で行く場合に、皆さんから要望とか、改めてとるんですが、今日、こういう話が出ましたので、こんなところに行きたいと、皆さんの方から提案いただければ、次回、例えば、こういう提案がありましたという事で、どんどん進めていけますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。あと、2つ目について、セデッテ、八沢小学校、サイクリングロード、牛島の件もあります。鹿島が抱える財産でもあり課題でもありますの

で、こちらについては、今後、地域協議会につどつと情報提供しながら、検討していただくような体制をとっていきたい。その時は、また皆さんにしっかりとご相談しながら、進められればと考えておりますので、よろしくお願いしたいと思います。

○高野会長 はい、ということでございます。はい、他にないですか。はい、無ければ、これで本日の議題はすべて終了しました。議長の座を下ろさせていただきたいと思えます。ありがとうございました。

6 閉会

○地域振興課長 ありがとうございました。それでは、以上をもちまして、第2回鹿島区地域協議会を終了いたします。

以上のとおり相違ありません。

会 長

高野 邦弘

会議録署名人

北 元 幸 一

会議録署名人

太田 真樹子